

いつまでもお天気がえって来て

不思議な日本がづいていよ

めちやくちやあついの

雨かふとこれでもかこぬでもかと降って

いる笑言をど当然のよな空わろふと雨

暑かっけりあつかうけりばあたりそえ

95うとつづいていよ

今子でこのようなお天者を知らずの

お天気がくるつてしすつたけりうだ

日本に午でやさそうだ

地球は痛んでいる

大~~地~~印は候って来やわと比かう地球も

こられそろと存っていよりかもと水年ひ

頭にまよつ週内ぐうい何事もなくあつてほしい

静かなる~~静~~日々木とんをに上印か

戦争存としていよ~~時~~でない

手をつとせそかふて~~昔~~とちと有り

地球をうごめちう

春夏秋冬よひ日下ありそなううた

わかろていよ

人々のねがいが大きければ

まうとかつての日は木よすがさ

不天翁とるし水

~~雨~~ 降りふつてもいい

しとくふりの音がたたく音も雨付工印だ

風も吹いてもいい すそを過ぎ かしい月を

手つていい

外の草々も それと手つてりる

草

草刈り 草刈りもそれとそれかわる

朝が西

花の格つた

~~花~~ 花の格つた ~~花~~ 花の格つた

地面はけつてりる 雨がぬるは

全部そう思つてりる 大きな水たまり

と見えてりる

2622  
7/18